

人工知能学会倫理委員会 主催シンポジウム
「AI研究コミュニティのダイバーシティ & インクルージョン」
2021年2月15日 オンライン開催

趣旨説明と 論点の整理

清田 陽司

(人工知能学会 編集委員長、株式会社LIFULL)



<http://ai-elsi.org/archives/1124>

推奨ハッシュタグ

#JSAI_ELSI

登壇者紹介



伊藤 貴之 氏
(お茶の水女子大)

- 研究分野：情報可視化・マルチメディア・インタラクション
- 日本IBM東京基礎研究所
- 1997年 博士（工学）
- 2005年よりお茶の水女子大助教授、2011年より教授
- 同大文理融合AI・データサイエンスセンター長兼務
- 2020年- 日本学術会議連携会員（ジェンダー・ダイバーシティ分科会）



橋本 隆子 氏
(千葉商科大)

- 研究分野：データマイニング・ソーシャルメディア解析
- (株)リコーソフトウェア研究者
- 2005年 博士（工学）
- 2009年より千葉商科大准教授、2015年より教授
- 同大副学長・国際センター長
- 2015-2016年 IEEE Women In Engineering Committee 会長
- 2017年- 日本学術会議連携会員



坊農 真弓 氏
(国立情報学研究所)

- 研究分野：多人数インタラクション、マイノリティ相互行為（手話、指点字など）
- 2005年 博士（学術）
- ATR、京大、学振PD研究員を経て2009年より国立情報学研究所助教、2014年より准教授
- 2007-2009年 米国、2016-2017年オランダで在外研究に従事
- 2020年- 情報処理学会Info-WorkPlace委員会 委員長



司会: 清田 陽司
(LIFULL)

- 研究分野：自然言語処理応用、不動産情報処理
- 2004年 博士（情報学）
- 東大情報基盤センター助教、2007年(株)リッテルを共同創業、2011年M&Aにより現職
- 各種の産学連携活動（共同研究、データセット提供、各学会委員担当など）に従事
- 2014年- 人工知能学会編集委員、2020年- 編集委員長

学会誌「人工知能」2020年9月号 特集「ダイバーシティとAI研究コミュニティ」



共同企画者

- 伊藤 貴之（お茶の水女子大）
- 坊農 真弓（NII）
- 大澤 博隆（筑波大）
- 清田 陽司（LIFULL）

7本の記事＋カバーページ
で構成

※2記事については学生編集委員会主導で企画・作成

**全記事、J-STAGE＋AI書庫で
オープンアクセス**

掲載記事リスト

- (巻頭記事) 伊藤 貴之, 大澤 博隆, 清田 陽司, 坊農 真弓. 特集「ダイバーシティとAI研究コミュニティ」にあたって.
- 坊農 真弓. コロナ時代における女性研究者の働き方.
- 伊藤 貴之. 女子大学におけるIT産業への進路事例.
- 大澤 博隆. AI研究コミュニティの見せ方・つくり方.
- ボレガラ ダヌシカ. 海外から見た日本の人工知能研究と教育.
- 永田 龍太郎. 「見えないマイノリティ」のソーシャルインクルージョン ～渋谷区における性的マイノリティ (LGBTQ) に関する実践と課題～.
- 藤堂 健世, 佐久間 洋司, 大澤 博隆. AIにジェンダーを組み込むことはどういうことか.
- 藤堂 健世, 佐久間 洋司, 大澤 博隆, 清田 陽司. AI エージェントの社会実装における論点の整理 – 「AI さくらさん」の事例から–.

個人がマイノリティの立場におかれるのはどういうときか？

- 集団内における固有の属性
 - 性、人種、国籍、使用言語、出自、信条、宗教、身体・精神の障害、居住地域、etc.
- 環境の変化
 - ライフイベント（出産、育児、介護、ケガ、病気など）
 - 所属するコミュニティの変化（事業方針の転換、組織の統合、組織の消滅など）
 - 災害（震災、火災、水害、**感染症**など）
 - 国際紛争、戦争

「マイノリティになる可能性がゼロである」という人は存在しえない＝**誰にとっても自分事**



LGBTQは「他人ごと」？

あなたも 多様な性のグラデーションを生きている 1人です

性のありようは十人十色。以下の4要素のかけあわせ

1. 体の性

身体的・生物学的な性の特徴を指しますが
体の性のありようも、多様です

2. 性自認 [心の性]

「自分がどんな性別だと思うか」
トランスジェンダーのように、心と体の性の
違和、不一致を感じている方もいます

3. 好きになる性 [性的指向]

「恋愛や性愛の感情が、どんな性に向かう
か」。例えばレズビアンは、女性として女
性が好きな人のことを指します

4. 表現する性

ファッションや物腰、しぐさや言葉遣いと
いった「らしさ」のジェンダー表現の選択
を指します

引用元

永田 龍太郎. 「見えないマイノリティ」のソーシャルインクルージョン
～渋谷区における性的マイノリティ（LGBTQ）に関する実践と課題～.

主なテーマ

- 取り上げたテーマ
 1. ジェンダーダイバーシティ（性別、LGBTQ）
 2. ライフイベント
 3. 率直な意見の表出、健全な議論ができる環境の創出
 4. 国籍、使用言語
- 取り上げられなかったが、重要なテーマ
 - 身体、精神の障害
 - 信条、宗教

1. ジェンダーダイバーシティ

- 坊農氏

- コロナ禍で表出した働き方の課題、女性研究者をとりまく環境、委員会や会議の開催形態

- 伊藤氏

- 女子学生の進路選択、キャリア構築をとりまく環境

- ダヌシカ氏

- 英国の大学における教員採用プロセス上の配慮

- 永田氏

- 性的マイノリティに関する正確な理解の浸透

2. ライフイベント

- 坊農氏

- コロナ禍にともなう自宅待機期間中の悩み、心と体の健康の維持、委員会の開催時間など

- 伊藤氏

- 就職後のワーク・ライフ・バランス

- ダヌシカ氏

- 若手研究者のサポートに関する日英の違い

- 永田氏

- 渋谷区のパートナーシップ証明制度について

3.率直な意見の表出、健全な議論ができる環境の創出

- 伊藤氏
 - 情報系の進路選択にあたっての不安の軽減、女性コミュニティの構築
- 大澤氏
 - 学会誌表紙デザインの選定、SFコミュニティの事例
- 学生編集委員会による2記事（AIさくらさん）
 - 実証実験だけでは表出されない課題があること、アカデミアの知見の活用必要性

4. 国籍・使用言語

- ダヌシカ氏
 - 留学生として学ぶこと、研究員として働くこと、研究コミュニティの活動への参画

パネリストからの講演 (各15分)

伊藤 貴之 氏

「女子大学におけるIT産業への進学事例」

坊農 真弓 氏

「ダイバーシティを受け入れる社会へ：
女性研究者のリアル」

橋本 隆子 氏

「国際学会におけるダイバーシティ & インクルージョン－IEEE WIEの活動を通じて」

パネル

ディスクッション

パネルディスカッションの ねらい

- AI研究コミュニティとして今後取るべき具体的なアクションの方向性共有
- 情報系の各学会との連携強化
 - 伊藤氏：情報処理学会、電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、可視化情報学会、etc.
 - 坊農氏：人工知能学会、情報処理学会、日本認知科学会、etc.
 - 橋本氏：IEEE、日本データベース学会、情報処理学会、etc.

ディスカッションのトピックス

1. ダイバーシティの低さによって生じている研究コミュニティの課題
2. グローバル研究コミュニティにおける日本の立ち位置
3. 研究コミュニティの在り方に求められる視点
4. イノベーションとダイバーシティ & インクルージョン
5. これから取るべき具体的なアクション

ディスカッションのトピックス

1. ダイバーシティの低さによって生じている研究コミュニティの課題
2. グローバル研究コミュニティにおける日本の立ち位置
3. 研究コミュニティの在り方に求められる視点
4. イノベーションとダイバーシティ & インクルージョン
5. これから取るべき具体的なアクション

1. ダイバーシティの低さによって生じている研究コミュニティの課題

- バイアスのリスク
- ハラスメントのリスク
- 今後のコミュニティ発展に及ぼす影響
- コロナ禍でどう変わったか？

ディスカッションのトピックス

1. ダイバーシティの低さによって生じている研究コミュニティの課題
2. グローバル研究コミュニティにおける日本の立ち位置
3. 研究コミュニティの在り方に求められる視点
4. イノベーションとダイバーシティ & インクルージョン
5. これから取るべき具体的なアクション

2. グローバル研究コミュニティにおける日本の立ち位置

- 日本のプレゼンスの現状
- 世界各国、アジア諸国におけるダイバーシティ & インクルージョンへの取り組み

ディスカッションのトピックス

1. ダイバーシティの低さによって生じている研究コミュニティの課題
2. グローバル研究コミュニティにおける日本の立ち位置
3. 研究コミュニティの在り方に求められる視点
4. イノベーションとダイバーシティ & インクルージョン
5. これから取るべき具体的なアクション

3.研究コミュニティの在り方に 求められる視点

- イベントや委員会の開催形態
 - オンラインコミュニケーションツールの活用
 - バリアフリー
 - ライフイベント
- 他者への想像力について
 - 「自分も環境の変化によりマイノリティになりうる」ことへの視点をどのように醸成していけるか？
 - 前提とされてきた研究者のフォーマット

ディスカッションのトピックス

1. ダイバーシティの低さによって生じている研究コミュニティの課題
2. グローバル研究コミュニティにおける日本の立ち位置
3. 研究コミュニティの在り方に求められる視点
4. イノベーションとダイバーシティ & インクルージョン
5. これから取るべき具体的なアクション

4.イノベーションとダイバーシティ & インクルージョン

- AIなどのテクノロジーが達成してきたダイバーシティ向上
 - 地域間格差、情報保障、...
- ダイバーシティ向上がイノベーションにどのように寄与してきたか？
- AIとダイバーシティの共進化？

ディスカッションのトピックス

1. ダイバーシティの低さによって生じている研究コミュニティの課題
2. グローバル研究コミュニティにおける日本の立ち位置
3. 研究コミュニティの在り方に求められる視点
4. イノベーションとダイバーシティ & インクルージョン
5. これから取るべき具体的なアクション

5. これからとるべき具体的なアクション

- 行動指針の制定、コミュニティへの浸透について
- 次世代（高校生層など）へのアピール、女性コミュニティの構築に向けて
- 情報系の各学会が連携してできること

おわりに